

令和6年3月29日

世田谷区立松沢小学校

校長 寺崎 晶子

## 令和5年度 学校評価の評価結果及び改善方策等について

### 1 令和5年度に向けた改善方策の実施結果について

令和4年度の学校関係者評価に基づき、松沢小が置かれている状況や世田谷区の教育ビジョン等を鑑み、以下の5点を今年度の目指す学校像の重点と設定し、教育活動を行った。

#### 目指す学校像の重点

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの充実に努め、だれ一人置き去りにしない学校
  - ① 児童が落ち着いて安心して過ごせる生活環境をつくる。
  - ② 主体的に学ぶ（活動する）児童を目指す。
  - ③ 共生社会の実現に向けた活動の推進及び、多様な学び・多様なものの見方を醸成する。
- (2) 教職員のチーム力を高め、保護者・地域から信頼される学校
  - ① 常に組織を意識して教育活動を行う。
  - ② 安全・安心な学校を目指す。
  - ③ 開かれた学校づくりを推進する。
- (3) ICTを効果的に活用し、せたがや探究的な学びを追究する学校
  - ① GIGAスクールの推進
  - ② せたがや探究的な学びの追究
- (4) 子どもの健康・体力向上に努める学校
  - ① 健康・体力に関心をもたせる教育を行う。
- (5) 地域と共に子どもを育てる学校
  - ① 商店街の中にある立地や、歴史のある本校の背景を効果的に活用する。

### 2 自己評価結果

別紙「令和5年度 自己評価結果」を参照

### 3 令和6年度の学校経営に向けて

令和6年度は、令和5年度の学校関係者評価及び自己評価点検の結果を踏まえ、バランスよく本校の教育活動を改善・推進する。また、来年度の世田谷区教育委員会の施策を鑑み、来年度の学校経営計画と教育課程の改善を行った。

- (1) 「キャリア・未来デザイン教育」の推進
  - ・「キャリア教育年間指導計画」に基づく計画的な指導の充実に図り、「キャリアパスポート」を活用して、児童が生活や学習を見通し、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげ、将来の生き方を考えられるようにする。
  - ・生きがいをもち働く卒業生、地域の方をゲストティーチャーに招いた授業を通して、働く意味や将来への希望をもたせる指導を行い、進路を選択する基礎的な能力の育成に努める。
- (2) 児童の体力向上及び教師の指導力向上に向けて
  - ・体育の学習を通して、児童に体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、体力を高める必要性を認識できるようにすることで、より一層の体力の向上を図る。
  - ・教師の指導力を高め、学校を支える人材としての育成を行うために、校内研究や各種研修の活用を図り、研究や研修に参加しやすい環境をつくる。
- (3) 「働き方改革」の推進
  - ・教師が心身ともに健康で、児童と向き合う時間を確保するために「働き方改革」を推進する。